



奈良県マスコットキャラクター

せんとくん  
©NARA pref.

## 奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター  
(奈良県保健環境研究センター内)

**Nara IDSC**



### 今週の概要

■ 今週の感染症情報

■ 全数報告対象感染症発生状況（5 月分） **NEW**



(調査週) 平成 23 年 第 24 週 6 月 13 日 (月) ~ 6 月 19 日 (日)

奈良県および二次医療圏別発生状況 (奈良県上位 5 疾患) (5 週間からの動向)

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	感染性胃腸炎	3.91	→	→	→	→
2	水 痘	2.31	→~↑	→	↑	→~↑
3	A 群溶連菌咽頭炎	1.69	→	→	↑	↓
4	咽頭結膜熱	0.80	↑	→~↑	↑	↑↑
5	手足口病	0.77	↑↑	↑↑	↑	↑↑
5	伝染性紅斑	0.77	→~↓	→~↓	→~↓	↑↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

**県北部地区概況** 報告数は 194 例で、前週報告の 163 例から増加。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②水痘、③伝染性紅斑、④手足口病、⑤A 群溶連菌咽頭炎の順。手足口病の報告数（18 例）は、急増。感染性胃腸炎の報告数（62 例）は、増加。水痘の報告数（34 例）は、やや増加。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（17 例）は、ほぼ横ばい。伝染性紅斑の報告数（19 例）は、やや減少。なお、インフルエンザは、上位 5 疾患からはずれた。奈良市 HC 管内基幹定点からマイコプラズマ肺炎が 1 例（1~4 歳児）また、郡山 HC 管内基幹定点からは無菌性髄膜炎が 2 例（0 歳児、10~14 歳児各々 1 例）報告された。郡山 HC 管内眼科定点から、流行性角結膜炎の報告が 1 例あった。（村井 記）

**県北部外来状況：** 外来患者数は減少しています。インフルエンザは学級単位で流行もみられるようですが、終息したものと思われます。3-4 週間頃より出現していた手足口病が保育園児で流行しています。1-2 日の 38-40 度の発熱、口内炎はほとんど目立たない例と口蓋峡にピッシリある例、手足の発疹は手掌には少なく前腕部や下肢に丘疹状の大きな発疹がある例が目立つ。感染性胃腸炎はウイルス性と細菌性が混在しているが乳幼児には少なくなっている。（矢追 記）

**県中部地区概況** 報告数は172例から191例と増加した。上位の5疾患(23週→24週)は、①感染性胃腸炎(65例→62例)、②A群溶連菌咽頭炎(23例→42例)、③水痘(33例→40例)、④咽頭結膜熱(15例→21例)、⑤突発性発疹(9例→9例)であった。インフルエンザの報告はなかった。眼科定点及び基幹定点からの報告もなかった。(徳田 記)

**県中部外来状況**：外来数は減少傾向。夏風邪と感染性胃腸炎が主。アデノ様の例が多いが検査キットは陽性に出にくい印象。手足口病が流行中、肘窩にも認める例が多く、発疹も一見水痘と紛らわしい例がある。発疹の経過と、臀部以外の軀幹、顔面、頭部に認めない事から水痘と鑑別可。発熱は伴う例も伴わない例もある。伝染性紅斑が流行中。発疹は典型的な例が多い。A群溶連菌感染症も流行。前回のA群溶連菌感染症の血小板減少例はその後28万に回復し一過性であったが、A群溶連菌感染症に伴って起こったかどうかは不明。前回のスローな水痘発疹と発熱、下痢の例は、結局、水痘、A群溶連菌感染症およびO18感染性胃腸炎のトリプル感染症であった。インフルエンザは3週なかったが、前週に14歳男児でA型陽性例があった。私立学校生で、学校で流行ありとの事で自ら検査希望、他の患児が解熱後2日で登校してくるとの事で感染防御体制の不備が考えられた。インフルエンザはその1例のみで、ほぼ終焉と思われる。(岡本 記)

**県南部地区概況** 報告数(第23週→第24週)は31例→28例と推移。報告のあった疾患は①感染性胃腸炎(6例→13例)、②水痘(6例→7例)、③ヘルパンギーナ(2例→3例)、④手足口病(1例→2例)、④伝染性紅斑(2例→2例)、⑤咽頭結膜熱(1例→1例)。(柳生 記)

**県南部外来状況**：外来数は減少している。インフルエンザは二週連続して発生なく、終息したと思われる。感染性胃腸炎も減少したが、キャンピロバクターの家族例や、アデノなどがあった。伝染性紅斑が幼児と高校生で1例ずつあり。ヘルパンギーナも1例あった。百日咳の小学生の兄弟とその母親への感染例を認めしたが、他にも成人親子の家族内感染例があった。水痘僅か。溶連菌、流行性耳下腺炎はなかった。(山本 記)

**【全数報告対象感染症発生状況(平成23年5月)】**

平成23年5月に奈良県内の保健所に届出のあった全数把握対象感染症は、以下の通りです。  
5月報告患者数(平成23年6月22日現在)

類型	疾患名/保健所名	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	5月計
2類	結核		9	4	11			24
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2					3
5類	後天性免疫不全症候群		1	1				2
5類	梅毒		1	1				2
5類	麻しん	1	1					2